

地方公共団体における人権教育事業の実施状況に関する調査研究  
事例調査票

様式2

(財)人権教育啓発推進センター

実施自治体・担当課（連絡先）	富山県教育委員会 生涯学習室 電話： 076-444-3435
----------------	------------------------------------

1. 概要

事業名	人権教育研修会及びヒューマンコミュニケーションフェスタ・イン・とやま2004
主催（共催）	富山県、富山県教育委員会、富山市、富山地方法務局、富山県人権擁護委員連合会、富山県人権啓発活動ネットワーク協議会
実施年月日・実績等 *回数・参加人数・作成部数等	実施年月日：2004年11月26日（金）12:00～16:00 参加人数：520人
開催場所	富山国際会議場（富山市）
対象	一般県民、学校の教職員、社会教育関係者、市町村行政関係者
人権課題	人権全般

2. 事業内容

(1)事業の目的 学校（園）の教職員及び社会教育関係者の人権に関する研修を行い、もって人権教育の推進を図る。
---

(2)事業概要 ・総合人権相談 12:00～16:00 ・人権啓発映画「セツちゃん」の上映 13:00～13:40 ・講演会 13:50～15:20 講師 中山 千夏 氏 演題 「一人ひとりがいきいき輝いて生きるために」 ・実践発表等（人権紙芝居の発表） 15:30～16:00 福岡町立福岡小学校イラストクラブ 「石うすの歌」 高岡市立志貴野中学校生徒会 「蜘蛛の糸」 ・人権啓発ビデオ上映 12:00～16:00 ・パネル、資料展示「世界人権宣言」啓発書画など
(2)-1 連携状況 共催：富山県、富山県教育委員会、富山市、富山地方法務局、富山県人権擁護委員連合会、富山県人権啓発活動ネットワーク協議会
(2)-2 特色・工夫した点（広報の方法も含む） 知事部局と共に企画・運営することにより、学校教育関係者や社会教育関係者の枠を越えて、多くの人びとと一緒に人権を考える機会とした。
(3)参加者の反応・事業の反響等 ・人権啓発映画「セツちゃん」を見た学校関係者から、人権週間中に上映したいとの申し入れが数件あった。 ・人権紙芝居はとても分かりやすかったとの意見が多かった。 ・講演の内容を知りたいとの問い合わせが多く、講師の了解を得て講演録を1,500部作成し、希望者に配布した。
(3)-1 反省点・今後の課題 ・経費節減が叫ばれる中、毎回充実した内容にするには、工夫が必要である。 ・実践発表はより身近で、わかりやすいものが良く、県内ではどのような活動が行われているか、日ごろより把握しておく必要がある。